



非住宅部門
事例

17

空き家利活用コンテスト2024 優秀賞（デザイン賞）

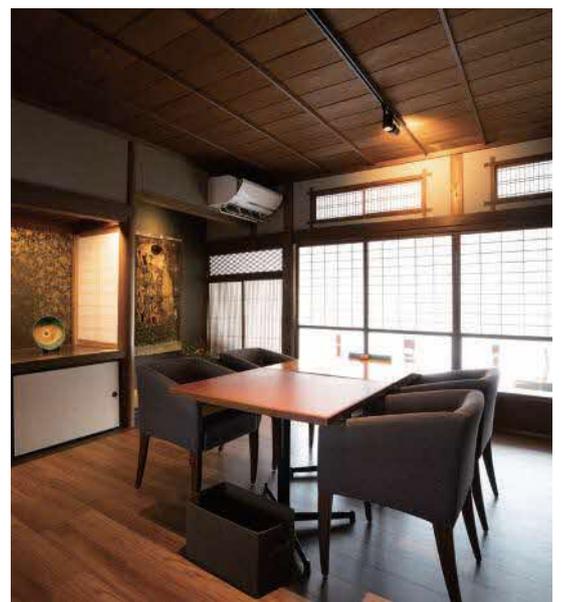
HINO suite du Petit Marché

100年の歴史を受け継ぐ、
気品あるフレンチレストラン



食事に訪れるお客様楽しんでもらえるよう飲食スペースから前庭と中庭を望める設計に。古き良き襖や構造を活かしつつ、新建材と融合させ、心地よい空間を実現している。

築100年、13年間空き家だった古民家が、フレンチレストランとして生まれ変わった。古き良き和の趣を活かしながらも、新しい素材と調和させることで、洗練された空間を実現した。外観は状態が良かったため、当時のままを維持し、街並みに溶け込む景観を大切に。内装は、襖や構造材を活かしつつ、現代的な設えを加えた。特に、玄関を開けた瞬間の照明演出や、和室の落ち着いた照明効果が、特別な時間を演出している。改修では、建物の歪みによる床やサッシの調整が必要となり、下地の補正に苦労したが、シンプルで気品のある飲食スペースを実現。席数を抑え、一つひとつの席から庭を望む設計にし、静かで贅沢なひとときを提供する。地域に開かれた店舗として庭木も整備し、街並みに調和する空間に。訪れる人がワクワクする佇まいと、落ち着いた空間が融合した、唯一無二のレストランが誕生した。



間接照明を効果的に配置することにより、落ち着きと奥行きを体感できる空間になっている。



レストルームは落ち着いた雰囲気を大切にしている。リラックスできる空間を演出するため、細部にこだわり窓面にミラーを設置。カウンターも余裕あるサイズ感で製作している。間接照明を設置しレストルーム全体に配光出来るように配慮した。





食事に来るお客様がワクワクするような雰囲気作りを大切に、玄関の照明で演出を工夫。古き良き構造を活かしつつ、新建材とデザインの融合でモダンさを加えた。



[DATA]

- 【所在地】米子市錦町
- 【構造】木造2階建て
- 【築年月】1924年
- 【改修後の用途】店舗（飲食店）
- 【間取り構成】個室2屋・キッチン・トイレ
- 【改修期間】2023年1月～3月
- 【改修費用】約876万円